

回覧

令和6年4月10日

柳瀬川町内会各位

柳瀬川町内会会長 竹前栄二
防犯パトロール隊長 結川 一義

4月度防犯パトロールの件

3月度は町内会では事件はありませんでしたが、悪質屋根修理業者が徘徊していますので、再度注意願います。(令和4年9月度防犯パトロール日誌、令和5年9月にも掲載、11月25日町内会を回っていました)町内会地内を屋根瓦、トタンが浮いている等理屈をつけて屋根に登らせて、一部をわざと壊して莫大な修理を取る悪質な業者が横行しています。絶対に屋根に登らせない事です。(「ミヤケンさん」からも警告がありました)

★:今回の悪質の手口は、4月4日に、隣の外壁工事をしている業者ですが、お宅の屋根(拙宅)釘が出てますから見ましよう、と、話を持ち込んできましたが、不審なしゃべり方なので断り、隣の施行業者に確認に行きましたら工事は一人で行っており「赤い作業服の職人」は知らないとの事。

今回の悪質さは隣の施行業者を騙っている事です。皆様方も、業者から話を持ち掛けられてもその場で契約をしないようにしてください。

■屋根修理・リフォームの詐欺・悪質業者の手口とは？

- ・無料点検を行っています

まず一つ目のケースが、訪問営業で「現在、近隣住宅の無料点検を行っていますとお伺いしました」などで訪れるケースです。

見てもらうだけならいいのでは？と思っているかもしれませんが、無料点検には以下の罠も潜んでいます。訪問した業者は、点検する名目で屋根上に上がります。

ここで破損・劣化部分を撮影し、その後営業トークへと流れ、商談の運びに持っていかうとします。

訪問した業者は、点検する名目で屋根上に上がります。

ここで破損・劣化部分を撮影し、その後営業トークへと流れ、商談の運びに持っていかうとします。ここで問題なのが、屋根上は業者しか確認できていないことです。

タチの悪い業者によっては、自身で破損させ、あたかも修理が必要な屋根の状態にして撮影するケースがあります。

- ・突然の訪問営業には警戒すること
- ・その日、その場で契約をするのではなく、日をおいて見積もり内容等をよく確認すること

・その日、その場で契約をさせようとする業者は断ること・一社だけで検討するのではなく、他社にも相談してみること・屋根修理・リフォーム会社のホームページを確認し、実績・お客様の声など活動がわかる情報を確認すること・工事代金が全額前払いになっていないことその場の雰囲気流されて、決してその日のうちに契約をしないことが大事です。よくその業者を調べてから検討・契約をしましょう。



以上